



たっち

平成15年
(2003年)
年2回発行

12/1

第2号

編集・発行 / 立川市教育委員会

〒190-0022 立川市錦町3-2-26

042(523)2111(市役所代表)

立川市ホームページ

<http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/>

教育だよりの『たっち』は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

学校の授業が変わってきました

「生きる力」をはぐくむ学力とは

自ら学び考えるなどの「生きる力」をはぐくむことをねらいとした新しい学習がはじまっています。

「生きる力」とは？

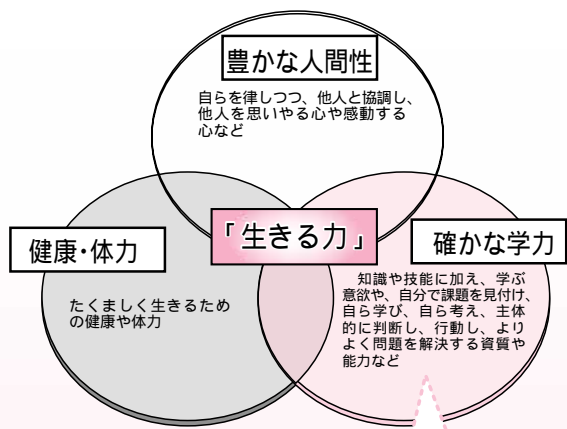
文部科学省のいう「生きる力」とは

●自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力
●自らを律し、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力などです。

この「生きる力」をはぐくむには、「豊かな人間性」や、たくましく生きるための「健康と体力」とともに、自ら学ぶ意欲や行動力などを兼ね備えた「確かな学力」が大切です。

確かな学力とは？

「学力」を考えると、従来は知識や技能の習得に偏りがちでした。現在、学校では知識、技能に加え、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、



確かな学力



立川ではどうしているの？

立川市の小・中学校では、本年度、毎日の学校での授業を通して一人一人の子どもたちに「確かな

行動し、よりよく問題を解決する資質や能力をも含めて学力と考えています。

このような学力を育成するには、黒板に先生が書いた事柄をノートに書き写すような授業ではなく、一人一人の子どもに合ったよりきめの細かい指導を行って知識や技能を高めるとともに、体験を通して、子ども自らが工夫して問題を解決するような学習が必要です。

生きる力をはぐくむ「総合的な学習の時間」

< 総合的な学習の時間のねらいは？ >

自ら学び自ら考える力や学び方、ものの考え方を身に付け、問題を解決したり、自己の生き方を考えたりできるようにすることが、小学校から高校までの共通したねらいです。発達段階に合わせて、学校ごとの特色を生かすために、具体的な目標や活動を工夫します。

< どんな活動をするの？ >

- 環境、福祉・健康、国際理解などのテーマを学校や学年で決めて学習をします。学校ごとに特色があり、取り組む活動は異なります。小学校では英会話に親しむ活動も始まりました。
- 地域に出での活動や、学校外の人々とのふれあい活動が増えました。グループでの活動も増えました。
- 自らの工夫を大切に体験的な学習や問題解決的な学習を行います。学習成果の発表などを通して表現力を育てます。

< 立川市立学校の活動の特色は？ >

市立小・中学校では、多くの学校で地域の方々とのふれあいやかわりを大切にしています。また、学校へ地域のボランティアの方に来ていただいている活動も盛んです。様々な人との交流が増えたことで、活動も広がりを見せています。これからも工夫や改善をし、充実した時間にしていきます。

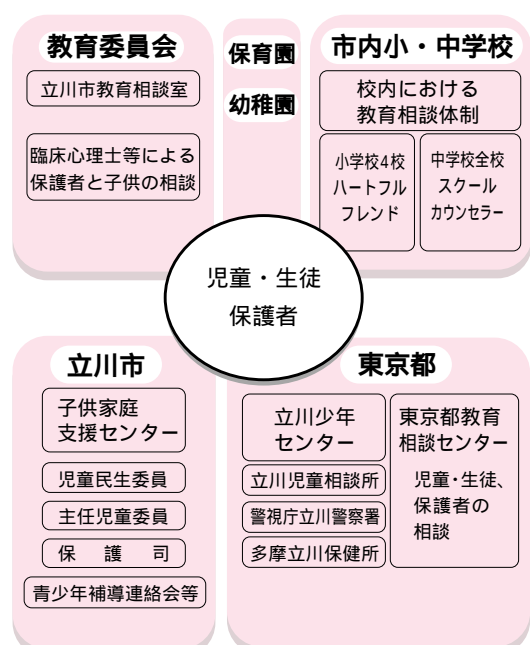
立川の学校を見に行こう

学校では、日々の学習において内容の繰り返し学習等を通して基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るだけでなく、体験的な活動や問題解決的な学習等の充実を図

ることを通じて思考力、判断力、表現力など様々な資質や能力を育てていくことを目指しています。そのために、毎時間の指導のねらいを明確にするようにしています。市立小・中学校では、道徳授業の地区公開講座のほか、合唱コンクールや運動会、教育研究発表会など様々な形で学校の教育活動を公開しています。学校にお問い合わせいただければ、いつでも授業等を参観することができ、ぜひ変わってきた学校教育をご覧ください。



立川市における相談体制について



●市の教育相談を「活用ください」
教育相談室では、「教育相談」と「就学相談」をしています。「教育相談」では、こたばが遅い、友達と遊べない、幼稚園・保育園や学校に行きたがらないなど、子育ての心配事や子どもからの相談のついでにいます。「就学相談」では、子どもの望ましい就学先を保護者と一緒に考えていきます。

相談は、予約制ですので必ず電話をしてください。直接相談室にいらつしやれない場合は、電話による相談もお受けします。教育相談室のほかに、教育の相談を受けています。図を参考に、相談機関を選び、気軽に相談ください。
●教育相談室 (527) 6171
●指導課・内線239

●教育研究発表会の紹介
立川市立学校では、教育に関するテーマを決めて実践研究をしています。その研究成果を他校の先生方に向けて紹介する研究発表会を左記の予定で行います。市民の方もご参加ください。
〔研究発表校とテーマ〕

○ 2月5日(木) 立川第五中「基礎基本の定着」
○ 2月6日(金) けやき台小「自ら考え、自ら学ぶ力の育成」
○ 2月18日(水) 立川第三中「自己表現力やコミュニケーション能力を高める教育活動の工夫」
●道徳授業地区公開講座にもご来校ください。(3学期分)
1月22日(木) 第八小・けやき台小
1月26日(月) 西砂小・南富士見小
1月27日(火) 柏小
2月2日(月) 南砂小・松中小
2月10日(火) 立川第二中
2月13日(金) 上砂小

立川七中二年 藤元絵美里さんが市長賞を受賞
第12回中学生の主張大会
十一月三日、市民会館で市内の中学生十五名が意見発表をおこないました。
入賞者は、立川七中二年藤元さんの市長賞をはじめ、議長賞・教育委員長賞各一名、特別賞一名、青少年問題協議会会長賞九名が受賞されました。また、努力賞二十名も表彰されました。今年は昨年を上回る一五四編の応募があり、親への憧れ、「ボランティア活動」、「社会事情への目」、「将来のこと」など、どれも中学生らしい作品で、当日発表者の選考に審査員は大変苦労されたようです。
（青少年課・内線（342）



自然や人とのふれあいの中で、豊かな心を育んでいます

特色ある教育に取り組む中学校の姿



「たっち」創刊号では、市内小学校の紹介をしました。今回は、市内全中学校9校の特色ある教育活動を紹介しします。今、中学校教育は大きく生まれ変わっています。確かな学力と豊かな人間性、健康・体力を育成していくため、様々な教育活動が行われています。

生徒数は平成15年10月1日現在

最近の中学校教育

新しい教育課程により、中学校教育はこれまでの姿とは大きく変化しています。

子どもたちに「生きる力」をはぐくむことをねらいとした新しい教育課程が平成十四年度から始まり、中学校教育は大きく変化しています。

例えば、総合的な学習の時間が始まり、選択学習が増えたことで、これまでの授業の様子と違いがあります。そのことについてここで紹介します。

広がる選択学習

Q どうして中学校では選択学習が広がったのですか。

A 中学校では、生徒の能力・個性・興味・関心が多様化してきます。こうしたことに適切に対応す

体験から学ぶ 生きる力

とちの葉タイム（総合的な学習の時間）では、身近な地域での体験活動を通して自らの生き方を考える力の育成に努めています。一年生は、農家の方々の協力を得て、農業体験を行います。働くことの意義を学ぶことができました。二年生は、ボランティア活動団体の方々への訪問インタビューや高齢者・障害者施設での福祉ボランティア体験を行いました。このような一、二年生での体験学習をもとに、三年生では各自がそれぞれの興味・関心のあるテーマを選び、課題を追究する学習を進めています。地域の様々な人々とかわることで、感動や感謝の気持ちを学び、自らの生き方を考えるきっかけとなっています。

1年農業体験学習

立川第七中学校

生徒数534人
西砂町6-28-3

531-0511

日々、自己実現 Only One

本校の特色ある教育活動は、人権教育研究指定校として、生命尊重・人権尊重の精神の育成に重点を置き、自尊感情、共生の心の大切さを教えます。最新のコンピュータ処理技術が身に付きます。全48の多様なコースで学ぶ選択教科を開設します。毎朝の読書活動により読書習慣が身に付き、タイム・トレーニング、少人数指導による個に応じたきめ細やかな指導をします。ニューカレドニアとの交換留学、国際交流事業をします。スクールカウンセラー、学生ボランティアによる個別教育相談をします。英語検定資格3級以上の合格を目指します。お気軽に学校にお問い合わせください。

いかだ流し・運動会

立川第四中学校

生徒数348人
幸町5-49-1

536-2411

JA十支部の支援による学校農園

総合的な学習の時間に農業体験学習を行っています。九中農園は、地域のJA十支部の全面的な支援なしにはありえせん。この農園ではサツマイモ、里芋、落花生、大根など十一種類の作物を栽培し、夏休み前にはとうもろこし、枝豆が収穫でき、夏休み中の作業では甘くておいしいスイカにかりつきました。収穫祭では畑で獲れた里芋、大根、にんじん、ごぼうを入れた豚汁をJAの方々と一緒に全校生徒が食しました。牛糞の堆肥葉いっぱいといったアブラムシや青虫の間に詰まった泥。多くの体験から生徒たちは「自然」に関する個人テーマを設定し、総合的な学習を完成させていきます。

九中農園・落花生の収穫

立川第九中学校

生徒数256人
若葉町3-19-5

535-1415

絶対評価から相対評価へ

Q 絶対評価になったと聞きますが、どういったことですか。

A これまでの評価は、集団の中の順位で評価する相対評価でした。現在は、生徒一人一人が学習指導要領に示す目標や内容をどこまで達成できているかを見る評価になりました。これがいわゆる絶対評価というものです。

Q どうして変えたのですか。

A 集団の中の過度の競争を避け、子どもたち一人一人の目標へ達成状況を明らかにし、達成できる喜びを味わわせ、学ぶ意欲へとつなげていくことがねらいです。

職場体験学習

立川第五中学校

生徒数661人
上砂町3-27-1

536-2511

トライアル 3 DAYS

夢に向かって進む生き方！自分らしい生き方！生徒一人一人が自分の夢をもち、自分の生き方をしっかりと考えられるように、三年間を見通した進路学習を行っています。一年生で日職場訪問体験、二年生で上級学校訪問、そして三年生で三日間の職場体験を行います。今年度、三年生は約70の事業所で三日間の職場体験学習を行います。三年生にはなんと卒業後の進路についての意識が変わります。この時期に実際の職場で働くことによって、将来へのビジョンが具体的にのびてくるようになります。そして、自分の将来の夢を実現するために、今何をしなければならぬかを考えるようになります。

豆腐屋さんで実習する2年生

立川第六中学校

生徒数424人
泉町786-16

537-3195

体験を通して育つ豊かな心

六中の行事のハイライトは合唱コンクール。生徒が一つになつて燃え上がる合唱の迫力は、他校に負けない自信があります。東京都教育委員会から表彰を受けたこともある生徒の横並清掃、社会科の模擬裁判なども、六中の特色として定着しています。音楽の授業では、新たに琴の学習も始まり、総合的な学習の時間は、共生を全体テーマとして、社会や自然と共生しようとする意欲と力を育てています。二年生の総合的な学習の時間は、テーマを「生き方について考える」として、地域の方々と交流を軸とした活動を行い、九月にホテル、郵便局、幼稚園など、40の職場に分かれて三日間の仕事を体験しました。

社会福祉協議会の方との授業

立川第二中学校

生徒数508人
曙町3-29-46

523-4338

「STAGE」で輝く生徒たち

二中では「総合的な学習の時間」を「STAGE」としています。一年生は「話し合い学習・環境・水」、二年生は「福祉・環境」、三年生では「国際理解」をテーマに、生徒が自分たちで課題を設定し、様々な体験をしながら学習を進めています。「STAGE」では生徒が地域に出て活動したり、学校で地域の人たちに学習を支援していただいたりして、地域に根ざした特色ある教育活動を展開しています。生徒が自らの学習課題を意識し、自ら学び考えようとする時、体中から意欲がふくれ、輝いています。未来という「STAGE」で輝く生徒を目指しています。

地域とともに進める意見発表会

立川第三中学校

生徒数438人
羽衣町3-25-6

523-4348

二期制の導入について

Q どうして中学校では、二期制を導入している学校が四校あるのですか。

A いわゆる絶対評価になったことから、この評価をより一層充実させ、指導に生かすために、長い期間で評価をしていくと考える、学期の期間を長くする二期制を導入しました。

Q どうして二期制と三期制の学校があるのですか。

A 現在の学校教育は、学校ごとの特色や工夫を大切にしています。本年度は、二期制の方がより一層指導と評価が充実できると考え

準備を進めてきた学校から導入をすることにしました。

部活動の変化について

Q 部活動については、変化があったのですか。

A 部活動は学校の教育課程の中には含まれなくなりました。そのため部活動は生徒全員が入らなくともよくなりました。部活動の顧問の先生も必須ではなく、学校の小規模化、先生の高齢化も伴って、指導できる先生も少なくなっています。教育委員会では、子どもたちの活動を充実していくため、先生方の協力を得た上で外部から指導者を招き、学校を支援しています。

立川第八中学校

生徒数143人
富士見町7-24-1

526-2007

命を大切にすることを育てる教育

総合的な学習の時間を中心に「命を大切にすること」を育てる教育を進め、「生命誕生の神秘」や「命の重さ」を知り、「自分の命」を大切にすることを育てています。さらに環境汚染・援助交際、路上生活者襲撃など社会の課題を考へさせ、「他人の命」も大切にする心を育てます。また、一年生は、地域の子どもや若者との苦勞について学びました。二年生は立川保健所の保健師さんを迎えて、「性」を生きることについて学習しました。三年生は立川消防署の人に人工呼吸法や心臓マッサージ法を学び、実際に他人の命を救う手立てを身に付けました。

生命の誕生の喜びや子育ての苦勞について学ぶ

立川第一中学校

生徒数388人
柴崎町1-3-4

523-4328

豊かな心をはぐくむ

4月から二期制を実施しています。教科科目では少人数授業（生徒が内容を選ぶ習熟度別編成）を実施しています。「社会人」や高校の先生による授業（選択教科や総合学習等）も増え、校外では「企業やNPO法人等の団体」を訪問しています。ロータリークラブや商店街の皆様の支援をいただき「職場体験」等を通して地域の皆様方とのふれあいをとても大切にしています。「子どもの居場所づくり事業」の一環として「中倶楽部」を月一回の土曜日に開催しています。今行っているのは、「数学学習教室」で、地域の社会人や大学生の方が講師です。

「琴の演奏」（選択教科「音楽」）

立川第一中学校

生徒数388人
柴崎町1-3-4

523-4328

家庭・地域・学校・みんなで共有

三中では、自己表現力やコミュニケーション能力、豊かな人間性、生きる土となる基礎学力を子どもたちに育てたいと考えています。特に今年度は、子どもたちの「自己表現力やコミュニケーション能力」を育てることに重点を置いた教育活動を展開しています。その象徴的な取り組みが、地域とともに進める意見発表会です。全校発表会では、保護者の方や青少年健をはじめとする地域の方々の前で9人の生徒たちが各自の課題について堂々と発表しました。このように三中は、家庭・地域・学校の三者による共通の願いを大切に、日々の教育に携わっています。

地域とともに進める意見発表会

立川第三中学校

生徒数438人
羽衣町3-25-6

523-4348



児童文化に親しもう

「土曜ファミリー劇場」

中央公民館では、学校週5日制に伴い、子どもたちの余暇の充実と居場所づくりの一環として、幼児や小学生向けの劇や映画の催しを無料で行っています。

毎月第2土曜日の午前中に行っていますので、中央公民館講堂に直接お越しください。予定は次のとおりです。

12月13日(土) 人形劇団「こっこ座」

1月10日(土) 映画「スチュアート・リトル」日本語版

2月14日(土) 映画会「忍たま乱太郎」

3月13日(土) 児童劇「ダンスグループ「ぱべつ」」

問 中央公民館 (524)274



身体に優しい泉・柴崎 市民体育館プール

柴崎市民体育館と泉市民体育館プールは、塩素に頼らない殺菌剤による方式に切り替わりました。新しい方式では利用者の目や肌への刺激が軽減され、利用後の髪の毛のバサバサ感もなくなり、皮膚の弱い方でも安心してご利用になれます。

両プールとも、個人で自由に泳ぐことができますし、体育館または立川市水泳協会主催の水泳教室に参加することもできます。ぜひ、市民体育館プールを体験して、健康づくりにお役立て下さい。

● 利用時間 10時～21時(10月から5月)

● 利用料金 2時間400円 3歳～中学生2時間100円

● 休館日 柴崎市民体育館 毎週月曜日(泉市民体育館 毎週木曜日)

● 問 柴崎市民体育館 (523)5 泉市民体育館 (536)6711 水泳協会 (528)3190

生涯を通して学び続けよう

市民リーダーの活用を

超高齢社会といわれる人生八十年時代、生涯学習は定年後にやることだけではありません。社会教育から、個人の自発的な学びを生かした生涯学習へと、時代が流れる中で、いろいろな取り組みが成果をあげています。

立川市では、平成七年に、様々な特技や免許を持った方を「生涯学習指導協力者」として登録し、市内の団体やサークル・グループ等が主催する講座や学習会の先生をしてもらう制度を発足させまし

図書館探検②

希望の本が 届くまで



図書館では、ご希望の本をご利用いただけるように、「リクエストサービス」を行なっています。お探しの本をお気軽にカウンターでお尋ねください。館内の利用端末や立川市ホームページでも、市内全図書館所蔵の資料が一覧できます。

「希望の本がない時や貸出中の時にはリクエストをしてください。リクエストカードに書名・著者名・出版社など分かる範囲で記入いただければ、他の図書館から取り

寄せができます。また貸出中には返却次第貸し出します。なお、カウンターで暗証番号の登録をされると、市内図書館の本が貸出中の時に、館内端末や自宅のパソコンから予約ができます。図書館では、本がない場合には、新たに購入したり、都立図書館や都内の市区の図書館から借用したりして提供しています。

昨年はリクエストが延べ65、811件、借用した本は都立図書館から3,520件、他市から1,498件あり、全リクエストの約7、6パーセントを都や他市から借用しました。

特別な本は、国立国会図書館からも借用ができますが、国会図書館の資料は貸し出しはできませんので、館内での閲覧のみです。時には、都内になく、著者の出身地の図書館から取り寄せて貸し出すこともあります。

図書館では、読みたい本が図書館になくても、できる限り市民の皆様のご要望に応えるよう努力しています。遠慮なくご相談ください。

問 中央図書館 (526)6800

開校準備すむ 「新生小学校」

平成16年4月に「新生小学校」が開校します。これは、多摩川小学校と南富士見小学校の統合によるものです。

現在、「新校マスタープラン」にもとづき、新校となる現南富士見小学校の改修工事の実施設計作業を進めているところです。改修工事は、4月から1年間をかけて実施します。古い窓枠を取り替え、空調機器を整え、教室のオープン化を図ります。

この間、「新生小学校」は、仮校舎として現多摩川小学校を17年3月まで使用し、その後、改修された新校舎に移ります。

「新生小学校」のスタートにあたり、両校の児童が楽しくスムーズに学校生活を送ることができるよう、本年度は様々な交流事業を実施しています。新校がよい学校となるようにご意見をお寄せください。

問 教育委員会事務局・内線3900

いきいきたちかわ 出前講座の活用を

市民が行う学習会などに市の職員を派遣し、市政やまちづくりなどについて説明や解説を行っています。

講座内容は、市政全般にわたっていますが、その一部の教育関係をご紹介しますと次のとおりです。

- ・通学区域の緩和
- ・教育改革の取り組み
- ・給食からの食教育
- ・生涯学習のすすめ
- ・子どもの居場所づくり
- ・スポーツ施設と施策
- ・講座を企画してみませんか
- ・図書館の上手な利用

立川の歴史と文化財②

古民家園(小林家住宅)

幸町の平成新道に隣接する川越道緑地古民家園内にある小林家住宅は、江戸時代(1852年)に旧砂川九番に建築され、その後改築されていたものを平成5年に現在の場所に移築し、建築当時の入母屋造の茅葺き屋根に復元したものです。

土間を除いた6部屋で構成される六間型の内部様式は、砂川



村の中でも有数の豪農であったことを示しており、特に母屋北西に配置された「おく」の間にある床の間・違い棚・書院などの座敷飾りは、当時の武家屋敷に匹敵するほどの高い格式をもち、小林家住宅は市の有形文化財に指定されています。

園内は無料で自由に見学ができますので、ぜひ一度古民家園を訪れてみて江戸時代の砂川村の雰囲気になれてみてはいかがでしょうか。

● 場所 幸町4-65

● 開園時間 午前9時から午後4時30分まで

● 休園日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)と年末年始

● 入園料 無料

● 交通 立川駅北口からバス幸町団地行で終点「幸町団地」下車徒歩5分

● 問 歴史民俗資料館 (525)0860

守ろう「子どもの安全」 みんなでつくろう 「安心して暮らせるまち・立川」

10月16日に第九小学校で立川警察署の協力を得て、「学校110番通報訓練」を行いました。不審者が校舎の中に入ってきた場合を想定して、先生の指示をよく聞き、子どもたちは安全にすばやく避難をしました。また、先生方は、不審者から子どもたちを守り避難させたあと、警察への通報や警察が到着するまでの不審者への対応について訓練をしました。

子どもの安全を守るには、家庭・地域・学校とあらゆる場で大人が見守り、保護することが大切です。市立の全小・中学校では、子どもたちを犯罪から守るための「安全・安心チェック



問 指導課・内線239